

パートナー各位

Arcserve Japan

『Arcserve® Cyber Resilient Storage (CRS) 1.6』リリース
および 『Arcserve® CRS Appliance 1000シリーズ』
オプション追加のご案内

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より弊社製品に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、ランサムウェアをはじめとするサイバー脅威は巧妙化を極めており、バックアップデータの「不変性（イミュータブル）」を確保するストレージの導入は、企業の事業継続計画（BCP）において不可欠な戦略要素となっています。

このたび、Arcserve Japan は、セキュリティ要件が厳しい環境への適応力を高めた **Arcserve® CRS 1.6** をリリースいたします。併せて、導入の迅速化と運用負荷の低減を両立する **Arcserve CRS Appliance 1000 シリーズ** においても、お客様のニーズに柔軟に対応し、パートナー様の提案の幅を広げるための「オプション製品」を拡充いたしました。

本リリースの進化は、パートナー各位にとって、公共・金融・製造といったハイセキュリティ領域への提案力を強化する強力な武器となります。詳細については、各別紙を参照ください。

- **別紙 1 : Arcserve CRS 1.6 による機能強化（セキュリティ要件への適応力向上）**
外部ネットワークから物理的に隔離された「閉域網（ダーク サイト）」での運用をサポートします。ストレージの監視機能も追加され、システム全体の堅牢性が向上しています。
- **別紙 2: Arcserve CRS Appliance 1000 シリーズ オプション追加**
ミッション クリティカルな環境を支える「24 時間 365 日ハードウェア サポート」や、厳格な機密保持に応える「HDD/SSD 返却不要オプション」などを正式なラインアップに加え、幅広いニーズへの適応力を強化しました。

オンライン説明会のご案内

新機能と提案のベストプラクティスを解説するセミナーを開催いたします。

- 日時: 2026 年 4 月 2 日 (木) 14:00～

- 詳細・登録は[こちら](#)

本リリースの内容を、より詳細にお伝えします。

進化した Arcserve CRS シリーズは、お客様をサイバー攻撃の脅威から守り抜く「強固な防壁」となります。本製品を活用した、より付加価値の高い提案活動を何卒よろしくお願い申し上げます。

本製品に関するご不明点は、弊社営業担当までお問い合わせください。今後とも Arcserve 製品をよろしくよろしくお願い申し上げます。

以上

別紙 1

1. Arcserve CRS 1.6 新機能の詳細

主要な改善点として以下の3つの新機能が追加されました。これにより、物理階層の監視から、特殊なネットワーク環境での運用まで、幅広いニーズに対応可能となります。

① 閉域網（ダーク サイト）のサポート

セキュリティ要件が厳しく、外部ネットワークから完全に遮断された「エアギャップ（物理隔離）」環境での運用をサポートします。そのために、以下の3つの機能が追加されます。

- ◆ **オフライン アップデート:** Arcserve CRS ソフトウェアのアップデートを USB メディアや DVD 等を使って、オフラインで行えるようになります。
- ◆ **ローカル NTP サーバのサポート:** Arcserve CRS はその内部動作のために NTP をサポートする NTP サーバとの時刻同期が必要です。Arcserve CRS 1.6 よりローカル NTP サーバがサポートされるため、外部の NTP サーバとの通信ができない状態でも、データの不変性（イミュータブル性）、保持ポリシー、監査機能が維持されます。
- ◆ **サポートバンドルのオフライン エクスポート:** ログ等の情報（サポートバンドル）を USB メディアなどにオフラインでエクスポートできるようになります。これにより、Arcserve CRS がインターネットに接続していなくとも、Arcserve テクニカルサポートへサポートバンドルの提供が可能になります。

※ なお、Arcserve テクニカルサポートによるリモートでの支援（リモートアクセス）を行うには、従来通りインターネット接続が必要です。

② ネットワーク プロファイルの管理 (Network Profile Management)

展開作業を簡素化し、一貫性と安全性の高いネットワーク動作を保証するためのプロファイルが利用できます。

- ◆ **動的なネットワーク プロファイル切り替え:** 管理者はデータの不変状態を変更することなく、ネットワーク プロファイルの事前定義、割り当て、切り替えが可能です。
- ◆ **セキュリティの維持:** 環境全体で改ざん防止機能と監査可能なネットワーク構成を維持しながら、制御された接続変更を実現します。

③ SMART ディスク アラート (SMART Disk Alerts)

物理ストレージドライブの健全性と信頼性を継続的に可視化するため、CRS RAID 利用環境において、SMART (Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology) テレメトリを活用した監視機能が追加されました。

- ◆ **長期的な安定性:** Arcserve CRS の基盤となる不変で耐久性の高いストレージを維持するために不可欠な、ディスクの物理的な予兆検知を可能にします。
- ◆ **信頼性の検証:** 物理ディスクの状態を詳細に把握することで、バックアップデータの可視性と保護レベルを向上させます。

◇ [Arcserve CRS 1.6 リリース ノート](#) (2026 年 4 月 1 日公開予定)

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/10.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/ReIN_CRS/default.htm#new_features.htm?ToCPath=%25E6%25A9%259F%25E8%2583%25BD%257C____1

◇ Arcserve CRS 1.6 ダウンロード (2026 年 4 月 1 日公開予定)

4 月 1 日(水)より[製品ダウンロード ページ](#)から入手いただけます。

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-Cyber-Resilient-Storage-Download-Link?language=ja>

◇ 各ライセンス製品の価格、SKU、JAN コードについては変更ありません。

◇ 本リリースに伴いサポート終了になる製品はありません。

2. 受注・出荷スケジュール

今回のバージョン 1.6 リリースおよびメディアキットのスケジュールは以下の通りです。

受注開始日：2026 年 4 月 24 日 (金)

出荷開始日：2026 年 5 月 7 日 (木) |

3. Arcserve CRS シリーズの製品コンセプト

Arcserve CRS シリーズは、統合データ保護ソリューション「Arcserve UDP」のデータをサイバー攻撃から守るための専用ストレージです。

- ◆ **イミュータブル (不変) スナップショット**： 指定したスケジュールに基づき、変更不可能なスナップショットを自動取得します。万が一、管理者権限が乗っ取られバックアップデータが破壊された場合でも、攻撃前の状態から確実に復旧できます。
- ◆ **統合管理の利便性**： 使い慣れた「Arcserve UDP コンソール」から透過的に管理可能です。データストアの指定や設定が容易で、既存環境へスムーズに導入いただけます。
- ◆ **ストレージの効率利用**： 重複排除、圧縮、継続的な増分バックアップ機能を継承しており、コストを抑えながら長期間のバックアップ世代保持を支援します。

提供形態のラインアップ

お客様の環境や要件に応じて、以下の形態から選択いただけます。

1. **CRS (オンプレミス版)**： サーバハードウェアにインストールして使用するソフトウェア形式
2. **CRS Appliance**： ハードウェアとソフトウェアが一体化したアプライアンス形式。導入作業を大幅に簡略化し、Arcserve による一括サポートを提供
3. **クラウド CRS**： インターネット経由で Arcserve のクラウドストレージにデータを保存するサービス形式

4. ご購入・構成に関する留意事項

- ◆ **対応バージョン:** Arcserve CRS 1.6 を利用するには、連携する Arcserve UDP の復旧ポイントサーバ (RPS) が **バージョン 10.3 以上**である必要があります。
- ◆ **オーダーフォーム:** 発注に際しては「Arcserve Cyber Resilient (CRS) シリーズ Registration Form (登録用紙)」の提出が必要となります。最新版を[弊社サイト\(購入方法と製品価格表\)](#)よりダウンロードしてください。
- ◆ **詳細情報:** 各種ハードウェア仕様や最新の動作要件については、[弊社カタログセンター](#)に掲載の製品カタログ、またはリリースノートをご確認ください。

別紙 2

Arcserve® CRS Appliance 1000 シリーズ オプション追加

2026年3月2日に通知いたしました『Arcserve® CRS Appliance 1000 シリーズ』の価格表にサポートオプションが追加されました。

受注・出荷スケジュール

Arcserve® CRS Appliance 1000 シリーズ の受注出荷スケジュールと同様以下の通りです。

受注開始日：2026年4月1日(水)

出荷開始日：2026年5月7日(木)

本体製品価格表

製品名称	SKU JANcode	ライセンス 有効期間	価格 (税抜)	総額 (税込価格)
本体製品				
Arcserve CRS 1012 Appliance with 5 Years Subscription (12TB Model)	NACR1012FLJ12TS60C 4949013979667	5年	¥5,300,000	¥5,830,000
Arcserve CRS 1024 Appliance with 5 Years Subscription (24TB Model)	NACR1024FLJ24TS60C 4949013979650	5年	¥7,600,000	¥8,360,000
Arcserve CRS 1040 Appliance with 5 Years Subscription (40TB Model)	NACR1040FLJ40TS60C 4949013979643	5年	¥12,400,000	¥13,640,000
Arcserve CRS 1080 Appliance with 5 Years Subscription (80TB Model)	NACR1080FLJ80TS60C 4949013979636	5年	¥19,900,000	¥21,890,000

追加オプション製品価格表

製品名称	SKU	有効期間	価格 (税抜)	総額 (税込価格)
サポート オプション				
Arcserve CRS Appliance - 24時間365日ハードウェアサポートオプション(5年間・全モデル)	MCRS1000APJ24HE60C	5年	¥1,800,000	¥1,980,000
Arcserve CRS Appliance - 1ヶ月サブスクリプション(全モデル)	MCRS1000MAJVSPS01C	1ヶ月	¥510,000	¥561,000
Arcserve CRS 1012 - HDD/SSD 返却不要オプション(5年間)	MCRS1012APJNR1E60C	5年	¥157,000	¥172,700
Arcserve CRS 1024 - HDD/SSD 返却不要オプション(5年間)	MCRS1024APJNR2E60C	5年	¥187,000	¥205,700
Arcserve CRS 1040 - HDD/SSD 返却不要オプション(5年間)	MCRS1040APJNR3E60C	5年	¥295,000	¥324,500
Arcserve CRS 1080 - HDD/SSD 返却不要オプション(5年間)	MCRS1080APJNR4E60C	5年	¥435,000	¥478,500

◆ Arcserve CRS Appliance - 24時間365日ハードウェアサポートオプション(5年間・全

モデル)

ハードウェアのサポートを 24/365 受付/対応可能にするためのオプションです。例えば修理作業を業務終了後に行ってほしい、というご要望に応えられます。

- ◆ Arcserve CRS Appliance - 1 か月サブスクリプション (全モデル)
サブスクリプション期間を最初の 1 か月追加するオプションです。構築期間も込みで 5 年 1 か月のサブスクリプション期間が欲しい、という場面で購入ください。
- ◆ HDD/SSD 返却不要オプション (5 年間)
Arcserve CRS Appliance の HDD/SSD を故障交換する場合、故障品は Arcserve の資産として保守員が持ち帰ります。HDD/SSD に機密情報が入っているので故障品は置いておいて欲しい、という要望がある場合は、Arcserve CRS Appliance 購入時にこのオプションも購入ください。

ご購入・お手続きについて

- ◆ Registration Form(登録用紙)について
本製品のご発注に際しましては、「Arcserve Appliance Registration Form (登録用紙)」のご提出が必要となります。最新のフォームは[弊社サイト](#)よりダウンロードしてご利用ください。
- ◆ 構成・動作要件
Arcserve CRS Appliance 1000 シリーズは、Arcserve UDP 10.3 以降の復旧ポイントサーバ (RPS) と連携して動作します。詳細なハードウェア仕様や最新の動作要件については、[弊社カタログセンター](#)に掲載予定の製品カタログをご参照ください。